

第2学年道徳学習指導案

日時 平成17年10月5日(水) 1校時
対象 2年A組(男15名 女14名 計29名)
指導者 教諭 赤 壽 詩 子

1 主題名 かけがえのない生命 【3・(2)自他の生命の尊重】

2 資料名 「たったひとつのたからもの」 (文藝春秋刊)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

指導内容3・(2)では、「生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する」ことをねらいとしている。生命とは、かけがえのない大切なものであり、自己の生命だけではなくすべての生命を軽々しく扱ってはならない。しかし、中学生期は、心身の成長のアンバランスが最も著しい時期であり、生命の尊厳を自覚できず、衝動的に生命を傷つける行動に走ることもある。一方、自己の存在に関心をもつ時期でもあり、このような時期に、生命の大切さについて考えさせることは意義があると考え。

そこで、6年間という短い生命を精一杯生き抜く秋雪くんの姿やその家族の思いが綴られている本資料を通して、自他の生命を尊重し、いつくしみながらよりよく生きようとする自覚を深めさせたい考え、本主題を設定した。

(2) 生徒について

全体的に明るく素直な生徒たちである。男女の仲もよいほうで行事なども協力し合い、少しずつではあるがお互いを理解することができるようになってきている。しかし、中には、まだ本来の自分を出せずに悩んでいる生徒や自己主張できない生徒も見られる。自己の存在そのものがかけがえのないものであり、自分自身の与えられた命を精一杯生き抜くことの大切さについて気づかせたい。

また、7月に行った道徳性検査の結果をみると、指導内容3・(2)「生命の尊重」の項目が低くなっている。仲のよい友達同士の日常会話の中にも時々冗談で「死」という言葉が使われることがある。もう一度一人一人がかけがえのない命であること、そしてその命を大切に生きていこうとする心を育てたい。

(3) 資料について

本資料は、生まれて1ヶ月後にダウン症と重い心臓病で1歳の誕生日を迎えることも難しいと告知された「秋雪くん」の母親の著書である。秋雪くんの生きた6年間の様子とそれを見守り続けた家族の思いが描かれている。短い生命を精一杯生き抜いた秋雪くんの生き方や病気の告知を受けてからの母親の気持ちの変化、秋雪君のことを「たったひとつのたからもの」と思えた家族の思いを理解させながら、自他の生命を尊重し、いつくしみながらよりよく生きようとする自覚を深めさせたい。

4 共に生きる心について

ひとりひとりの命はかけがえのないものであり、何ものより尊いものである。自他の生命を大切にしながら、互いを認め、共に助け合い支えあっている関係を築いていきたい。また、私たちは決してひとりでは生きていくことはできない。周りの支えや温かい励ましのおかげで頑張れることも多い。

本資料について考えることで、自分自身の与えられた命を精一杯生き抜くことや、自分の周りのかけがえのない命を大切にしようとする気持ちを育てていきたい。

5 本時の展開

(1) ねらい 命の尊さについて深く考え、かけがえのない自他の生命をいつくしみ、よりよく生きようとする心を育てる。

(2) 研究仮説(手立て)とのかかわり

- ・資料は、写真やビデオ等を場面に応じて使用し、秋雪くんと家族について理解させる。
- ・導入で、ビデオ「たったひとつのたからもの」の秋雪くん誕生場面を見せ、興味・関心に結びつける。
- ・書く活動 は、自己の価値観に気づかせるための活動とする。(ワークシート活用)
- ・書く活動 は、ねらいにせまらせるための活動とする。(ワークシート活用)
- ・お互いの発表を聴き合いやすいようにコの字型で学習を進める。
- ・終末は、CMで流れた秋雪くんの映像(DVD)を流し、道徳的価値の自覚を深める手段とする。

(3) 展 開

| | 学習活動と主な発問 | 期待される生徒の反応 | 指導上の留意点 |
|---------------|---|--|---|
| 導入 5分 | 1 資料への導入を図る。 ビデオ「たったひとつのたからもの」の秋雪くん誕生場面を見る。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・以前テレビで放送されたドラマの秋雪くん誕生場面を流す。 ・誕生の喜びとダウン症の疑いがあると言われた両親の表情に注目させる。 |
| 展 開 40分 | 2 秋雪くんについて知る。 秋雪君が生活していくうえで注意することは何だろうか。資料の()に入る言葉を考えてみよう。 資料 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・長時間大きな声で泣かせない ・(A)はしない ・人ごみを避ける ・虫歯をつくらない ・急激な温度変化を防ぐ ・(B)を直接飲むのは禁止 </div> 3 秋雪くんが重い病気だと告知されたときの母親の気持ちを考える。 病気を告知され、たくさんの注意事項を受けたときのお母さんはどんな気持ちになっただろうか。 | Aは「けんか」「だっこ」 Bは「生水」 ・どうして・・・ ・つらい ・ショックだ | <ul style="list-style-type: none"> ・秋雪くんが生まれたときの写真を提示する。誕生したときの様子や1ヶ月後にとても重い病気だと診断されたこと、生活するうえでたくさんの注意事項を受けたことを説明する。 ・注意事項資料を提示する。 ・秋雪くんの病気の重さに気づかせる。 ・正解はA「おんぶ」B「母乳」と伝える。 ・余命1年と宣告されたお母さんのつらい気持ちに気づかせる。 ・病気を告知され、たくさんの注意事項を受けて、もうろうとしていた思いから「1日でも長く一緒にいたい」と変化してい |

| | | | |
|--------------------------------|--|---|--|
| <p>展 開</p> <p>40 分</p> | <p>4 秋雪くんを大切に思っていたおじいちゃんが危篤になったときのお母さんの気持ちを考える。</p> <p>あなたがお母さんだったら、大切な秋雪くんを病院に連れて行くだろうか。行かないだろうか。 (書く活動)</p> <p>5 秋雪くんが運動会やクリスマス会を元気いっぱい楽しんだ後、平成 11 年 1 月、6 歳と 2 ヶ月で亡くなったときのお母さんの気持ちを考える。</p> <p>秋雪くんとお別れのとき、お母さんは秋雪くんに「よくがんばったね。」と語りかけました。秋雪くんががんばったことは何だったのだろうか。 (書く活動)</p> | <p>・連れて行く (理由)・おじいちゃんの最期だから会わせてあげたい</p> <p>・連れて行かない (理由)・秋雪くんの命を守りたい</p> <p>・一生懸命生きること ・最後まであきらめないこと ・余命 1 年と言われたが 6 歳 2 ヶ月まで生きてくれたこと</p> | <p>った気持ちを伝える。(本文から紹介)</p> <p>・秋雪くんがお父さん、お母さん、おじいちゃんとそれぞれ一緒に写っている写真を提示し、家族が秋雪くんのことを大切に思う気持ちに触れる。</p> <p>・秋雪くんとおじいちゃんとのつながりがわかる資料を提示する。</p> <p>・命に重さの違いはなく、どちらの命も大切にしたいと思い悩むお母さんの気持ちを理解させる。</p> <p>・悩んだ結果、秋雪くんを病院に連れて来てもらうが間に合わなかったことを伝える。</p> <p>・成長の様子を写真で知らせる。</p> <p>・与えられた命を精一杯生きることの大切さに気づかせたい。</p> <p>・お母さんの気持ちが書かれた文章を紹介し、生きることについて考えさせたい。</p> |
| <p>終 末 5 分</p> | <p>6 CM で流れた秋雪くん本人の映像 (DVD) を見る。</p> <p>7 感想を書く。(書く活動)</p> | | <p>・お母さんのメッセージ入りの映像を見せる。</p> <p>・「たったひとつのたからもの」にこめられた思いを考えながら授業を振り返らせる。</p> |

6 板書計画

たったひとつのたからもの

表紙の写真

生まれて
すぐの写真

生後半年の間に風邪をひいてしまったら
それで終わり
一歳の誕生日を迎えるのは難しいだろう

資料

・長時間大きな声で泣かない
・（ ）はしない。

お母さんの気持ちは・・・
・つらい
・ショックだ

お母さんと
一緒の写真

お父さんと
一緒の写真

一日でも長く
一緒にいたい

おじいちゃんと
一緒の写真

お父さんとおじいちゃんが
作った秋ちゃんガーデンの
写真

あなたがお母さんだったら、
大切な秋雪くんを病院に
連れて行くだろうか。
連れて行かないだろうか。

連れて行く
連れて行かない

秋雪くんのお別れするとき、お母さんは秋雪くんに「よくがんばったね。」と語りかけました。秋雪くんががんばったことは何だったのだろうか。

・一生懸命生きること

今の命を精一杯。
病氣の人に限らず、すべての人間に言えること。